

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和3年8月4日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 損害賠償請求に係る訴状の送達について
- ・ ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく措置について
- ・ 運転免許の取消し処分について

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

(1) 警察署協議会の開催状況等について（令和3年第1四半期）

県警察から、警察署協議会の開催状況等に関する報告があった。

令和3年4月から6月までの間、13警察署において、警察署協議会が開催され、「特殊詐欺被害防止対策」、「山岳遭難及びクマ被害防止対策」などの諮問に対し、協議が行われた。

また、警察署協議会の提言に基づき、クマ被害防止対策、高齢者の交通事故抑止対策などの施策を推進したとのことであった。

委員から、『今後も、協議会の意見を踏まえ工夫を凝らしながら施策等に反映していただきたい。』との発言があった。

(2) 令和3年上半期の県内における自殺者について（暫定値）

県警察から、令和3年上半期の県内における自殺者に関する報告があった。

令和3年上半期の自殺者は89人と、前年同期より3人増加した。

特徴として、自殺者のうち65歳以上の高齢者は43人で、全体の48.3%を占めており、年代別では、70代が20人と最も多く、次いで80代の14人であった。原因・動機別では、健康問題が26件と最も多く、次いで経済・生活問題の17件であるとのことであった。

委員から、『関係機関との連携を強化し、警察として出来る事に尽力してもらいたい。』との発言があった。

(3) 令和3年夏の交通安全運動及び児童の交通事故防止対策の実施結果について

県警察から、令和3年夏の交通安全運動及び児童の交通事故防止対策の実施結果に関する報告があった。

7月11日から7月20日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした令和3年夏の交通安全運動が実施された。各警察署において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数30件、死者数1人、負傷者数31人で、前年同期に比べ、発生件数は3件、死者数は1人の増加、負傷者数は1人減少したとのことであった。

委員から、『子供、高齢者の交通事故防止対策については繰り返し粘り強く推進していただきたい。』との発言があった。